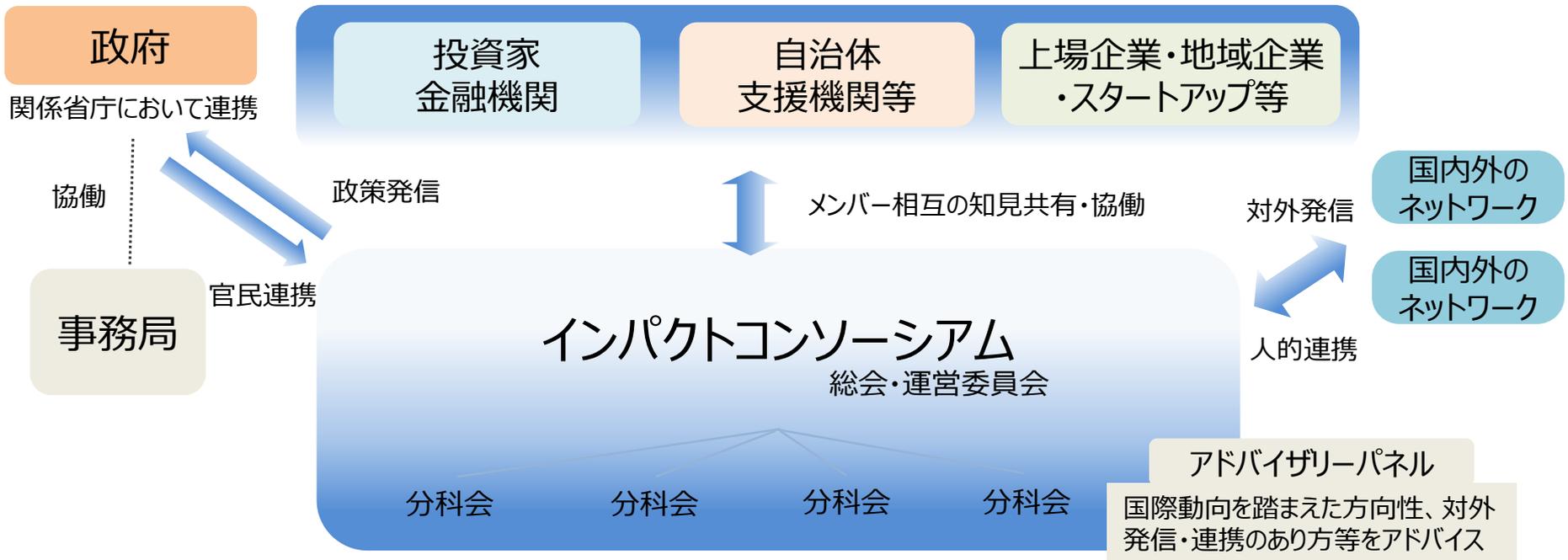


インパクトコンソーシアムについて

- 気候変動や少子高齢化等の環境・社会課題の重要性が増す中で、**課題解決を図る事業等への支援は喫緊の課題**となっている。特に、**環境・社会的効果（「インパクト」）の創出を、経済・社会の成長・持続可能性に結び付ける好循環の実現が重要**であり、産官学金等による幅広い連携が期待される。
- このため、**インパクト実現を図る経済・金融の多様な取組みを支援し、インパクトの創出を図る投融資を有力な手法・市場として確立し、事業を推進**していく観点から、**投資家・金融機関、企業、自治体等の幅広い関係者がフラットに議論し、国内外のネットワークとの協働・対話を図る場**として、「**インパクトコンソーシアム**」を設置する。
- 運営については、官民連携の場として政府から支援を行いつつ、**参加者の自主的な課題設定・議論**を旨とし、**投資指標や事例、対話・支援手法等の産金間の実践上の知見・課題の収集・発信**を中心としつつ、インパクト実現の取組支援につながる幅広い事項に係る議論を行う。また、必要に応じ、政策発信を含む**対外メッセージの発信**等を検討していく。



インパクトコンソーシアムの組織について

発起人

- コンソーシアム設立の発起
- 規約案の策定

総会

- 事業方針と運営の基本的事項を決定
- 年1回総会を開催
- 役員（会長・副会長）の選任

事務局

- 当面の間、国により支援
- 事務運営は、委託も活用
- 予算等も踏まえつつ、オンラインプラットフォーム等の参加者間の情報連携の取組みも検討

アドバイザーパネル

- 国内外の組織・有識者が参画し、国際動向を踏まえた方向性、对外発信・連携のあり方等をアドバイス

運営委員会

- 総会の委任を受け、総会の日程、分科会の設置・調整、その他のコンソーシアムの運営に係る事項を決定
- 第一回総会までは発起人・同代理人が暫定運営委員を務め、第一回総会で総会により選任

設立時の暫定的な分科会構成

- 運営委員会により、各分科会の設置・議事等を調整・決定
- 第一回総会までに、暫定的に以下の分科会を設け、参加者間の協働により、議事やメンバーを具体化し、第一回総会以降に改めて決定

①データ・指標

②市場調査・形成

③地域・実践

④官民連携促進

(※) 金融庁等の国の機関は、会員ではなくオブザーバーとして参加し、運営支援や活動への協働等を行う

当面の分科会構成について

① データ・指標分科会

国内外の先行研究等と連携しながら、事例の共有・分析等を行い、中長期的な課題解決・事業性実現等に有効なインパクト指標の設定のあり方、投資実施時のデータの収集・推計方法、社会課題を示すマクロデータのあり方など、データ・指標の項目と着眼点、収集方法等について、議論を行う。中期的には、国際団体等と連携した投資実践に活用できるデータ等の整備を目指す。また、インパクト加重会計の取組みとの連携等を検討していく。

② 市場調査・形成分科会

日本のインパクト投資市場の概況を整理し、国際比較や本邦投資家・企業等の特徴も踏まえつつ、裾野拡大を図るべき市場やこのための課題等について議論する。例えば、上場前の又は上場を目指さない企業のインパクト評価、セカンダリー・上場等の出口、多角的な事業を営む上場企業へのインパクト評価、長期投資のあり方等について順次議論を行う。その上で、それぞれの市場に適した・典型的な投資手法や類型等を他のネットワークと連携・橋渡しをしつつ議論・集約・発信していくことを目指す。

③ 地域・実践分科会

地域において社会・環境課題への対応を通じた事業の展開・革新等に取り組む企業を念頭に、事業性の理解・評価に際してインパクトを考慮する手法、企業特性に合わせた出資・融資・ベンチャーデット等を含むファイナンスのあり方、支援手法等について、事例共有・ケーススタディ等を通じ議論を行う。中期的には、特に地域を念頭に、インパクトを踏まえた事業性の理解と支援の実践的手法等を議論・集約・発信していくことを目指す。

④ 官民連携促進分科会

社会課題が多様化する中で、国や自治体等の行政組織が民間事業者と連携しその課題解決にあたる必要性が増しているところ、特にインパクトスタートアップと連携した社会課題解決の促進について議論する。具体的には、両者のマッチングの場の提供とマッチング後の連携を深めるための座組の検討、事例創出等を目指す。

コンソーシアム設立の流れ

- **令和5年11月28日に発起人等によるコンソーシアム設立発起会合を開催**し、コンソーシアムの基本的な運営方針等を提起し、幅広い企業・投資家・金融機関等に参加を呼びかけ。併せて、**暫定的に分科会を立ち上げ**、議論を進める。
- **来春に国際的な団体とも連携してインパクトフォーラムを開催**し、多様な内外関係者の参加を得て、投資市場の課題や今後議論すべき課題等について幅広く議論を行う。併せて、**第1回総会を開催**し、規約や委員等を決定。

時期	項目	概要	備考
11/28	コンソーシアム設立発起会合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発起人がコンソーシアムの概要を提起（少数規模） ・ 海外主要機関等からのメッセージを紹介し、投資家・金融機関等に参加を呼びかけ 	暫定的な規約・分科会・運営委員・会長・副会長の選任 ※第1回総会までは、運営委員は、発起人又はその代理人が務める
〽	会員募集 分科会議論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く一般から会員募集 ・ <u>分科会については、会員募集と並行して順次開催し、議論すべき論点などについて意見交換を進める</u> 	
来春	インパクトフォーラム・第1回総会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の主要団体・投資家・金融機関・企業等が参加（多数規模） ・ <u>コンソーシアムの主要な項目を総会にて正式決定</u> 	規約の決定、会長・副会長の選任、運営委員の任命、分科会の構成・内容の決定 ※2025年度の運営委員、議題等は改めて翌年総会で決定

発起人・運営委員の構成等

【発起人】

(有識者)

- 水口 剛 高崎経済大学 学長
- 渋澤 健 GSG国内諮問委員会 委員長

(企業)

- 十倉 雅和 一般社団法人日本経済団体連合会 会長
- 新浪 剛史 公益社団法人経済同友会 代表幹事
- 小林 健 日本商工会議所 会頭
- 米良 はるか 一般社団法人インパクトスタートアップ協会 代表理事

(投資家・金融機関)

- 加藤 勝彦 一般社団法人全国銀行協会 会長
 - 清水 博 一般社団法人生命保険協会 代表理事会長
 - 森田 敏夫 日本証券業協会 会長
 - 田島 聡一 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長
- (自治体)
- 高島 宗一郎 スタートアップ都市推進協議会 会長

【コンソーシアム会長・副会長（候補）】

会長

- 水口 剛 高崎経済大学 学長

副会長

- 渋澤 健 GSG国内諮問委員会 委員長
- 長谷川 知子 一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事
- 河本 哲志 一般社団法人全国銀行協会 企画委員長

【運営委員】

- 有識者
- 企業
- 民間金融機関
- 政府系金融機関
- 地方公共団体・地域の関係者 など

【アドバイザーパネル】

- インパクト投資等を推進する国内外の連携諸団体・有識者等から、国際動向も踏まえた大まかな議論の方向性、議論の成果に係る対外的な発信のあり方等につき、アドバイス